

小学6年 国語マスター [改訂版]

番号	内容	ページ	解答	日付	点数	合否
1	6年の漢字①	3	83	/	点	
2	春の詩を読もう	4	84	/	点	
3	6年の漢字②	5	85	/	点	
4	図書館へ行こう	6	86	/	点	
5	朗読しよう(1)	7	87	/	点	
6	朗読しよう(2)	8	88	/	点	
7	6年の漢字③	9	89	/	点	
8	国語ノートの作り方	10	90	/	点	
9	6年の漢字④	11	91	/	点	
10	本を読んで自分の考えを持とう(1)	12	92	/	点	
11	本を読んで自分の考えを持とう(2)	13	93	/	点	
12	本を読んで自分の考えを持とう(3)	14	94	/	点	
13	6年の漢字⑤	15	95	/	点	
14	熟語の構成	16	96	/	点	
15	6年の漢字⑥	17	97	/	点	
16	意見と理由	18	98	/	点	
17	6年の漢字⑦	19	99	/	点	
18	ずい筆	20	100	/	点	
19	資料の活用(1)	21	101	/	点	
20	資料の活用(2)	22	102	/	点	
21	6年の漢字⑧	23	103	/	点	
22	物語を作ろう	24	104	/	点	
23	人物と人物の関係(1)	25	105	/	点	
24	人物と人物の関係(2)	26	106	/	点	
25	人物と人物の関係(3)	27	107	/	点	
26	人物と人物の関係(4)	28	108	/	点	
27	6年の漢字⑨	29	109	/	点	
28	複合語	30	110	/	点	
29	6年の漢字⑩	31	111	/	点	
30	夏の詩を読もう	32	112	/	点	
31	6年の漢字⑪	33	113	/	点	
32	インターネットの投書(1)	34	114	/	点	
33	インターネットの投書(2)	35	115	/	点	
34	インターネットの投書(3)	36	116	/	点	
35	6年の漢字⑫	37	117	/	点	
36	本は友達	38	118	/	点	
37	6年の漢字⑬	39	119	/	点	
38	話し合い	40	120	/	点	
39	6年の漢字⑭	41	121	/	点	
40	場面に応じた言葉	42	122	/	点	

小学6年 国語マスター [改訂版]

番号	内容	ページ	解答	日付	点数	合否
41	感動の中心をとらえよう(1)	43	123	/	点	
42	感動の中心をとらえよう(2)	44	124	/	点	
43	感動の中心をとらえよう(3)	45	125	/	点	
44	感動の中心をとらえよう(4)	46	126	/	点	
45	6年の漢字⑮	47	127	/	点	
46	日本の文字	48	128	/	点	
47	漢文(1)	49	129	/	点	
48	漢文(2)	50	130	/	点	
49	6年の漢字⑯	51	131	/	点	
50	文と文のつながり	52	132	/	点	
51	6年の漢字⑰	53	133	/	点	
52	秋の詩を読もう	54	134	/	点	
53	町の未来(1)	55	135	/	点	
54	町の未来(2)	56	136	/	点	
55	町の未来(3)	57	137	/	点	
56	町の未来(4)	58	138	/	点	
57	6年の漢字⑱	59	139	/	点	
58	出合いに感謝しよう	60	140	/	点	
59	6年の漢字⑲	61	141	/	点	
60	いにしえの言葉	62	142	/	点	
61	すいせん図書(1)	63	143	/	点	
62	すいせん図書(2)	64	144	/	点	
63	すいせん図書(3)	65	145	/	点	
64	すいせん図書(4)	66	146	/	点	
65	6年の漢字⑳	67	147	/	点	
66	冬の詩を読もう	68	148	/	点	
67	6年の漢字㉑	69	149	/	点	
68	俳句を作ろう	70	150	/	点	
69	6年の漢字㉒	71	151	/	点	
70	6年の漢字㉓	72	152	/	点	
71	将来の夢(1)	73	153	/	点	
72	将来の夢(2)	74	154	/	点	
73	将来の夢(3)	75	155	/	点	
74	将来の夢(4)	76	156	/	点	
75	6年の漢字㉔	77	157	/	点	
76	六年間をふり返ろう	78	158	/	点	
77	君たちに伝えたいこと(1)	79	159	/	点	
78	君たちに伝えたいこと(2)	80	160	/	点	
79	六年の漢字テスト(1)	81	161	/	点	
80	六年の漢字テスト(2)	82	162	/	点	

漢字に共通している部分を、部首といいます。れい)紙、線、絵、細、組

漢字をていねいになぞりましょう。(2点×8問=16点)

	も 盛る やまも 山盛り	おとごさか 男盛り さいせいき 最盛期		ま 巻く まきもの 巻物	かんまつ 巻末 だいいっかん 第一巻
	してん 視点 しりよく 視力	しや 視野 じゅうし 重視		わ 割る わざん 割り算	やくわり 役割 わりびき 割引
	なら 並ぶ しちなら 七並べ	ひとなみ 人並 なみき 並木		きず 傷 きずぐすり 傷薬	ふしょう 負傷 じゅうしょう 重傷
	すな 砂 すなば 砂場	さてつ 砂鉄 さきん 砂金		ろうどく 朗読 ろうほう 朗報	ろうろう 朗々 めいろう 明朗

漢字で書きましょう。(5点×15問=75点)

①	も かいじょう 会場を <input type="text"/> り上げる	②	さいせいき <input type="text"/> を迎える	③	しや <input type="text"/> が広い
④	じゅうし せいせき 成績を <input type="text"/> する	⑤	なら じゅんばん 順番に <input type="text"/> べる	⑥	なみきみち <input type="text"/> を歩く
⑦	すなば こうえん 公園の <input type="text"/>	⑧	さてつ じしゃく 磁石で <input type="text"/> を集める	⑨	ま たおる タオルを頭に <input type="text"/> く
⑩	かんまつ <input type="text"/> の漢字表	⑪	わ さら 皿が <input type="text"/> れる	⑫	やくわり <input type="text"/> を果たす
⑬	きずぐち <input type="text"/> が開く	⑭	ふしょう じこ 事故で <input type="text"/> する	⑮	ろうどく し 詩を <input type="text"/> する

読み方を書きましょう。(3点×3問=9点)

①	にんじゃ 忍者の <input type="text"/>	②	ごうかく 合格の <input type="text"/> が届く	③	ちやうお 長男 <input type="text"/> が跡を継ぐ
---	----------------------------------	---	--------------------------------------	---	---------------------------------------

3	6年の漢字②	制限時間 20分	合格点 80点	点
---	--------	-------------	------------	---

左につく部首を「へん」といいます。れい)紙、線、絵 → 「いとへん」 校、村、林 → 「きへん」

漢字をていねいになぞりましょう。(2点×8問=16点)

	こと 異なる	いぎ 異議		じょうしゃけん 乗車券	ていきけん 定期券
	いじょう 異常	いへん 異変		にゅうじょうけん 入場券	しょうたいけん 招待券
	ろん 論じる	けつろん 結論		かぶ 株	かぶしき 株式
	ろんぶん 論文	ぎろん 議論		きかぶ 切り株	かぶか 株価
	じしゃく 磁石	じば 磁場		ちいき 地域	りょういき 領域
	じりょく 磁力	じき 磁気		くいき 区域	りゅういき 流域
	しゃく 尺	しゃくはち 尺八		しゅうきょう 宗教	しゅうもん 宗門
	しゃくど 尺度	まじゃく 巻き尺		しゅうは 宗派	かいしゅう 改宗

漢字で書きましょう。(5点×15問=75点)

①	こと かんが かんが 考え方が <input type="text"/> なる	②	いじょう <input type="text"/> がみ つかる	③	ろん えいが 映画について <input type="text"/> じる
④	ろんぶん はかせ 博士が <input type="text"/> をかく	⑤	じりょく でんりゅう なが 電流を流したときの <input type="text"/>	⑥	じき てつ 鉄が <input type="text"/> をお 帯びる
⑦	いっしゃく <input type="text"/> はやく 30cm だ	⑧	しゃくはち <input type="text"/> のね いろ の音色	⑨	にゅうじょうけん ゆうえん ち 遊園地の <input type="text"/>
⑩	かぶけん <input type="text"/> をほ かん を保管する	⑪	かぶか <input type="text"/> がさ がる	⑫	ちいき <input type="text"/> のぎょう じ の行事
⑬	りゅういき たか つ がわ 高津川の <input type="text"/>	⑭	しゅうきょう <input type="text"/> をしん じる	⑮	しゅうは ぶつぎょう 仏教の <input type="text"/>

読み方を書きましょう。(3点×3問=9点)

①	きょうりょく 強力な <input type="text"/>	②	巻き尺 <input type="text"/> はか で測る	③	切り株 <input type="text"/> すわ に座る
---	------------------------------------	---	------------------------------------	---	------------------------------------

国語のノートには、学習で分かったことだけでなく、自分の考えや参考になる友達の考えも書きましょう。

声に出して読みましょう。(30点×1問=30点)

四月十五日
サボテンの花

今日のめあて

「サボテンの花」をどのように朗読するかを話し合う。

風

「役に立たない。」

「ばかだな。」

サボテン


「ねむるようにくらすより、たたかいながら生きたい。」

「むだじゃなかった。」

「生きるということは助け合うことだ。」

今日のまとめ

話し合いをしながら、サボテンの強さややさしさについて考えた。朗読するときには、サボテンの生き方から感じた意志の強さを想像しながら、サボテンの強さややさしさが伝わるようにくふうして読みたい。



学習して分かった点なことや、次の学習に生かしたいことなどをまとめる。

十分に余白を取り、友だちの意見などを、書き加えられるようにする。

関係のあるところを線や矢印でつないで、考えを整理する。

学習を進めていくうえで大切なことは、線で囲んで目立たせる。

上の文章について、正しいものに○をしましょう。(10点×5問=50点)

①	学習を進めていくうえで大切なことは、どうですか。	べつのノートに書く。	ほかの文と同じように書く。	線で囲んで目立たせる。
②	関係のあるところを線や矢印でつなぐのは、何のためですか。	きれいなデザインにするため。	考えを整理するため。	余白を取るため。
③	余白を取るのは、何のためですか。	ノートをきれいに見せるため。	友だちの意見などを書き加えるため。	新しい漢字を練習するため。
④	サボテンの生き方について、内容と 合わないもの はどれですか。	とてもさみしい。	とても強い。	とてもやさしい。
⑤	「『一つの意志のように』という言葉に強さを感じた」というのは、だれの意見ですか。	自分	先生	友だち

上の文章について答えましょう。(10点×2問=20点)

①	今日のめあては何ですか。
②	今日のまとめには、何を書きますか。 ()や、次の学習に生かしたいことなどを書く。

二字以上の漢字を組み合わせてできた漢字を「熟語」といいます。

声に出して読みましょう。(20点×1問=20点)

一字+二字の三字熟語

最初の一字が、あとに続く言葉の性質を限定するもの。

新記録→新+記録、大自然→大+自然

「不・無・非・未」などがあとに続く言葉を否定するもの。

不規則→不+規則、無責任→無+責任

二字+一字の三字熟語

最初の二字が、あとに続く言葉を修飾するもの。

電車賃→電車+賃、時刻表→時刻+表

「的・性・化」などが、最初の二字に意味をそえるもの。

近代的→近代+的、重要性→重要+性

一字+一字+一字の三字熟語

関連のある言葉が三つ並ぶもの。

松竹梅→松+竹+梅、上中下→上+中+下

四字以上の熟語は、いろいろな構成の種類があります。

東西南北→東+西+南+北、臨時列車→臨時+列車、不信任案→不+信任+案、基本的人権→基本+的+人権



下の三字熟語を、構成ごとに五種類に分けましょう。(10点×5問=50点)

① 一字+二字の三字熟語で、最初の一字が、あとに続く言葉の性質を限定するもの。

② 一字+二字の三字熟語で、「不・無・非・未」などがあとに続く言葉を否定するもの。

③ 二字+一字の三字熟語で、最初の二字が、あとに続く言葉を修飾するもの。

④ 二字+一字の三字熟語で、「的・性・化」などが、最初の二字に意味をそえるもの。

⑤ 一字+一字+一字の三字熟語で、関連のある言葉が三つ並ぶもの。

副会長、入学式、理想的、陸海空、不自由、無意味、運動場、大中小、衣食住、芸術的、短期間、非常識、新発売、音楽家、植物性、大人物、金銀銅、自由化、未公開、回復力、長時間、警察署、合理化、非公式、市町村

□に「不」「無」「非」「未」のどれかを入れて、三字熟語を作りましょう。(3点×5問=15点)

例	未 ^{しやう しやうひん かえ} 使用の商品を返す。	①	□ ^{こうへい しゃかい か} 公平な社会を変える。	②	しげん □ ^{せいげん りやう} 資源を 制限に利用する。
③	□ ^{かんせい さくひん こうかい} 完成の作品を公開する。	④	□ ^{じやうしき こうどう ちゆうい} 常識な行動を注意する。	⑤	しけん □ ^{ごうかく} 試験は 合格だった。

□に「性」「的」「化」のどれかを入れて、三字熟語を作りましょう。(3点×5問=15点)


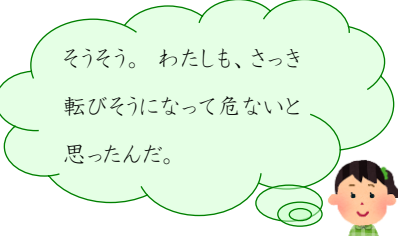

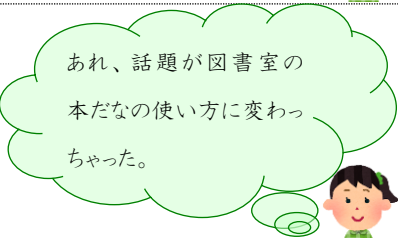

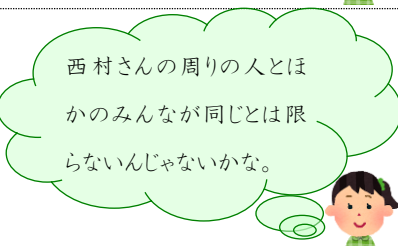
例	かれ てんけい □ ^的 彼は典型なアメリカ人だ。	①	ま か のう □ ^{たか} 負ける可能 が高い。	②	にはん しょうし □ ^{すす} 日本の少子 が進む。
③	きほん □ ^{まな} 基本 なことを学ぶ。	④	せんしゅ いがい □ あの選手は意外 がある。	⑤	がくひ むりやう □ 学費を無料 する。

人の意見を聞くときは、意見に対して挙げられている理由が適切かを考えながら聞くことが大切です。

声に出して読みましょう。(20点×1問=20点)

梅山さんは、「教室で気持ちよく過ごすために、昼休みに、クラス全員で整理整頓をする時間を作る」という提案をしました。

提案に対する三人の発言を読み、その理由が適切かを考えましょう。

 山田	<p>わたしは、梅山さんの提案に賛成です。</p> <p>なぜかという、ロッカーから物がはみ出していたり、机の横に物がたくさんぶら下がっていたりして、危ないと思っていたからです。机と机の間を通るときに、引っかかって転びそうになった人も多いのではないのでしょうか。また、①いつも整理整頓をしていけば、教室がきれいになるので、クラスがもっと仲良くなると思います。</p>	 <p>そうそう。わたしも、さっき転びそうになって危ないと思ったんだ。</p>
 大山	<p>ぼくは、全員で整理整頓をすることに②です。</p> <p>理由は、毎日かたづける時間を作れば、みんながふだんから整理整頓を意識するようになると思うからです。そうすれば教室も図書室もいつもきれいになるのではないのでしょうか。ぼくが入っている図書委員会では、本だながすぐに乱れてしまうことが問題になっています。読んだ本は、正しい位置にもどすようにしてください。</p>	 <p>あれ、話題が図書室の本だなの使い方に変わった。</p>
 西村	<p>ぼくは、提案には③です。</p> <p>その理由は、昼休みに、友達と遊ぶ時間が少なくなるからです。友達といちばんゆっくり過ごせるのは、時間が長い昼休みです。周りの人に聞いてみると、みんな、昼休みは遊びたいと言っていました。ほかのみんなも、昼休みが短くなるのはいやだと思っているはず。そうじ時間に、整理整頓するのはどうですか。</p>	 <p>西村さんの周りの人とほかのみんなが同じとは限らないんじゃないかな。</p>

上の文章について、正しいものに○をしましょう。(10点×3問=30点)

①	<p>線①の意見が、あまり適切ではないのは、どのような点ですか。</p> <p>反対意見の理由になっている。 整理整頓と仲良くなるのがつながらない。 整理整頓する場所が述べられていない。</p>
②	<p>②に合う言葉はどれですか。</p> <p>賛成 中立 反対</p>
③	<p>③に合う言葉はどれですか。</p> <p>賛成 中立 反対</p>

上の文章について答えましょう。(10点×2問=20点)

①	<p>梅山さんの提案では、整理整頓の時間はいつになっていますか。</p>
②	<p>西村さんは、整理整頓の時間をいつにするように提案していますか。</p>

上の文章で、意見に対して挙げられている理由が適切なら○、適切でないなら△を書きましょう。(5点×6問=30点)

①	<p>[山田さん] 理由…物がロッカーからはみ出していたりして危ない。</p>
②	<p>[山田さん] 理由…いつも整理整頓をしていけば、教室がきれいになり、クラスがもっと仲良くなる。</p>
③	<p>[大山さん] 理由…毎日かたづける時間を作れば、ふだんから整理整頓を意識するようになる。</p>
④	<p>[大山さん] 理由…図書委員会では、本だながすぐに乱れてしまうことが問題になっている。</p>
⑤	<p>[西村さん] 理由…昼休みに、友達と遊ぶ時間が少なくなる。</p>
⑥	<p>[西村さん] 理由…ほかのみんなも、昼休みが短くなるのはいやだと思っているはず。</p>

二つ以上の言葉が結び付いてできた言葉を複合語といいます。

声に出して読みましょう。(10点×1問=10点)

昔から日本で使われてきた言葉や、その言葉が変化してできた言葉を「和語」といいます。

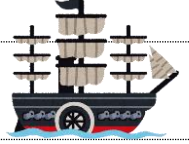
「和語」は、ひらがなや漢字の訓を使って書き表します。(例)星^{ほし}、朝^{あさ}、走^{はし}る、考^{かんが}える、悲^{かな}しい、おだやかだ

昔、中国から伝わって日本語として使われるようになった言葉や、漢字の音を使って日本で作られた言葉を「漢語」といいます。

「漢語」は、漢字だけで書き表し、読むときは音読みで読みます。(例)肉^{にく}、愛^{あい}、植^{しょくぶつ}物、均^{きんいつ}一、感^{かんじ}謝

中国以外の外国から入ってきて、日本語として使われるようになった言葉を「外来語」といいます。

「外来語」は、かたかなで書き表します。(例)カステラ、ペンキ、エネルギー、ガーゼ、クレヨン、マヨネーズ



「和語」+「和語」の複合語…うらの+山→うら山、話す+続ける→話し続ける

「漢語」+「漢語」の複合語…中間の+発表→中間発表、集合する+場所→集合場所

「外来語」+「外来語」の複合語…ペンの+ケース→ペンケース、カードの+ゲーム→カードゲーム

複合語は、結び付くときに、発音が変わることもあります…本+たな→本だな、あめ+くも→あまぐも、とぶ+上がる→とび上がる

複合語が長くなる場合は、短縮して表されることもあります…高等な+学校→高等学校→高校

上の文章について答えましょう。(10点×3問=30点)

① 「和語」についての説明を完成させましょう。

昔から()で使われてきた言葉で、()や()で書き表す。

② 「漢語」についての説明を完成させましょう。

昔、()から伝わって日本語として使われるようになった言葉で、()だけで書き表す。

③ 「外来語」についての説明を完成させましょう。

()以外の外国から入ってきて、日本語として使われるようになった言葉で、()で書き表す。

二つの言葉を組み合わせた複合語を書きましょう。(3点×12問=36点)

①	昼の+休み	②	ピアノの+教室	③	輸入した+品	④	消すための+ゴム
⑤	細い+長い	⑥	暑い+苦しい	⑦	早い+起きる	⑧	ボール+投げる
⑨	おかしな+はなし	⑩	ふねの+たび	⑪	かぜ+くるま	⑫	あめ+かさ






複合語を短縮して表しましょう。(3点×8問=24点)

①	短期大学	②	特別急行	③	教科用図書	④	主食用パン
⑤	スマートフォン	⑥	コンビニエンスストア	⑦	パーソナルコンピュータ	⑧	空 ^{から} オーケストラ

俳句や短歌では、詩の印象を深めるために、「字足らず」や「字余り」であえてリズムをくずすことがあります。

また、詩の印象を深めるために、たとえを使ったり、言葉の順序を入れかえたり、同じ言葉をくり返したりすることもあります。

声に出して読みましょう。(10点×1問=10点)

A	さびしさや 一尺消えて ゆくほたる 少し光ってから消えていくほたるは、さびしいものだ。	たちばな ぼくし 立花 北枝	
B	六月の 氷菓一盞の 別れかな 六月にアイスを一盛りだけ食べて別れてしまったなあ。	なかむら くさた お 中村 草田男	
C	夏草や 兵どもが 夢の跡 夏草が生い茂っているこは、武士たちが栄光を夢見た戦争のあとだ。	まつ お ば しょう 松尾 芭蕉	
D	音もせで 思ひにもゆる ほたるこそ 鳴く虫よりも あはれなりけれ 鳴き声も出さずに恋しい思いに燃えるほたるは、鳴く虫よりもおもむきがある。	みなものの しげゆき 源 重之	
E	ねこの子の くびの鈴が音 かすかにも おとのしみたる 夏草のうち 夏草の中で、ねこの子の首の鈴の音がかすかに聞こえた。	おおくま ことみち 大隈 言道	

上の俳句や短歌について、正しいものに○をしましょう。(10点×5問=50点)

①	Aの俳句の季語と季節は何ですか。	季語…ほたる 季節…春	季語…ほたる 季節…夏	季語…一尺 季節…夏
②	Bの俳句では、印象を深めるために、どことなくふうが使われていますか。	たとえを使っている。	言葉の順番を入れかえている。	あえて音数をくずしている。
③	Cの俳句の「兵」とは、どんな人のことを表していますか。	強い人	武士	夢を追う人
④	Dの短歌の「思ひにもゆる」の部分の説明として、正しいものを選びましょう。	ほたるの動作を人の動作にたとえている。	人の動作をほたるの動作にたとえている。	だれ誰の動作か分からないようにしている。
⑤	Eの短歌では、印象を深めるために、どことなくふうが使われていますか。	たとえを使っている。	言葉の順番を入れかえている。	あえて音数をくずしている。

声に出して読みましょう。(10点×1問=10点)

心臓から送り出された新鮮な血液は 十数秒で全身をめぐる
わたしはさっきのわたしではない ①そしてあなたも わたしたちはいつも新しい
さなぎからかえったばかりの蝶が 生まれたばかりの陽炎の中でゆれる
②あの花は きのうはまだ蕾だった
海を渡ってきた新しい風がほら 踊りながら走ってくる 自然はいつも新しい
きのう知らなかったことを きょう知る喜び
きのうは気がつかなかったけど きょう見えてくることがある
日々新しくなる世界 古代史の一部がまた塗り替えられる ③過去でさえ新しくなる









上の詩について、正しいものに○をしましょう。(10点×3問=30点)

①	①の「そしてあなたも」に言葉を続けるとすると、どんな言葉が入りますか。	新しい	さっきのわたしではない	さっきのあなたではない
②	②の「あの花」は今どんな状態ですか。	まだつぼみ	咲いたばかり	もう枯れそう
③	③の「過去でさえ新しくなる」のように作者が考えるのはなぜですか。	過去の中には知らないこともあるから。	過去はやり直すことができるから。	過去にはためになる教えがあるから。

問題を解決するためには、問題の原因を明らかにしたうえで、解決する方法を考えることが大切です。

声に出して読みましょう。(20点×1問=20点)

	<p>今日の議論は「どうすれば六年生がもっと学校図書館を利用するようになるのか。」です。 議論の提案者は、図書委員の大川さんです。 大川さん、議論について説明してください。</p>	
	<p>はい。この議論を提案した理由は、六年生になって図書館を利用する人が減っていることが分かったからです。 図書委員会では、毎月学年ごとの利用者数を調べています。 先月の六年生の利用者数を数えると、ぼくたちが五年生のときと比べて、およそ半分に減っていました。 どうすれば六年生がもっと図書館を利用するようになるのか、みんなで考えたいと思います。よろしくお願いします。</p>	
	<p>議論について質問はありませんか。 なければ、話し合いを進めます。 まず、利用する人が減った原因を考え、次に、原因ごとに問題を解決する方法を考えます。 自分たちでできることを考えましょう。</p>	
	<p>本を読まない人が増えているのではないのでしょうか。 六年生になっていそがしくなり、わたしも本を読む時間が減ってしまいました。</p>	
	<p>ぼくも、本を読まない人が増えていることが原因だと思います。 <input type="text"/>、その理由は、いそがしいということだけではなく、本に興味がなくなっているためではないのでしょうか。 友達は、本よりゲームのほうがおもしろいと言っていました。</p>	

上の文章について答えましょう。(10点×4問=40点)

①	今日の議論は何ですか。
②	今日の議題の提案者はだれですか。 ()委員の()さん。
③	司会が話し合いの進め方を説明している一文の、初めの五文字を答えましょう。「、」も一字に数えます。 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
④	学校図書館を利用する人が減ったことについて、石田さんと内野さんは何が原因だと発表していますか。

上の文章について、正しいものに○をしましょう。(10点×4問=40点)

①	図書委員会は、毎月何を調べていますか。 学校全体の本の貸し出し数。 学年ごとの人気の本の種類。 学年ごとの利用者数。		
②	学校図書館を先月利用した六年生の人数は、五年生のときと比べてどうなりましたか。 少しだけ減った。 およそ半分に減った。 変わらなかった。		
③	本を読まない人が増えていることについて、石田さんは何が理由だと考えていますか。 いそがしくなったから。 本に興味がなくなったから。 低学年向けの本が多いから。		
④	<input type="text"/> に合う言葉はどれですか。 だから ただ まず		

人に敬意を表したり、ていねいに言ったりするときの言い方を敬語といい、「尊敬語」、「けんじょう語」、「ていねい語」があります。

声に出して読みましょう。(20点×1問=20点)

尊敬語は、話し相手や話題になっている人を高めて言う言い方です。

- ① 特別な言葉を使う言い方 「先生のおっしゃることを聞く。」「お客様がお食事をめしあがる」
 ② 「お」や「ご」を付ける言い方 「先生がお帰りになる。」「ご入学おめでとございます。」
 ③ 「れる」「られる」をそえる言い方 「先生が本を読まれる。」「お客様が食事を始められる。」



けんじょう語は、自分や家族に関わることを低めて言う言い方です。

- ① 特別な言葉を使う言い方 「招待券をいただく。」「感謝の言葉を申しあげる。」「代わりに兄が参ります。」
 ② 「お」や「ご」を付ける言い方 「わたしが荷物をおとどけする。」「お客様を会場までご案内する。」

ていねい語は、ことからていねいに言う言い方です。

- ① 「です」「ます」を使う言い方 「発表会は、来週の土曜日です。」「わたしは、毎朝六時に起きます。」
 ② 「お」や「ご」を付ける言い方 「テーブルにおはしをならべる。」「みんなでご飯を食べる。」

いそがしそうな相手に話しかける場面や、たのみごとをするときには、次のような前置きの言葉を使ったり、言い方をくふうしたりします。

「ちょっと、いい。」「悪いけど、」「すみませんが、」「申し訳ありませんが、」「～してもらえませんか。」

また、言葉づかいはていねいでも、「～してあげます。」のような言い方は、親切をおしつけているようで良くありません。

下線部の言葉を尊敬語やけんじょう語に直すのに、正しいほうに○をしましょう。(3点×10問=30点)

①	先生がケーキを <u>食べる</u> 。(尊敬語)	②	わたしが弁当を <u>食べる</u> 。(けんじょう語)
	めしあがる いただく		めしあがる いただく
③	先生がわたしに <u>言う</u> 。(尊敬語)	④	わたしが先生に <u>言う</u> 。(けんじょう語)
	おっしゃる 申しあげる		おっしゃる 申しあげる
⑤	先生がわたしの方へ <u>来る</u> 。(尊敬語)	⑥	わたしが先生の方へ <u>行く</u> 。(けんじょう語)
	参る いらっしゃる		参る いらっしゃる
⑦	先生がわたしに本を <u>くれる</u> 。(尊敬語)	⑧	わたしが先生に本を <u>あげる</u> 。(けんじょう語)
	さしあげる くださる		さしあげる くださる
⑨	先生がわたしの絵を <u>見る</u> 。(尊敬語)	⑩	わたしが先生の絵を <u>見る</u> 。(けんじょう語)
	ごらんになる はいけんする		ごらんになる はいけんする

下線部の敬語が、尊敬語・けんじょう語・ていねい語のどれなのかを書きましょう。(4点×9問=36点)

①	わたしは、朝食にパンを <u>食べます</u> 。	②	お客様がお茶を <u>飲まれる</u> 。	③	自分のことを少し <u>お話する</u> 。
④	自分で <u>お弁当</u> を作りました。	⑤	お客様に遊び方 <u>をご説明する</u> 。	⑥	<u>ご心配</u> をおかけしました。
⑦	<u>お大事</u> になさってください。	⑧	これは彼が書いた本 <u>です</u> 。	⑨	こちらの本を <u>さし上げる</u> 。

場面に応じた言い方で書きましょう。(7点×2問=14点)

①	いそがしそうな友だちに、手伝いをたのおとき。	②	来客を駅まで送ってあげるとき。
---	------------------------	---	-----------------

昔の中国で書かれた、漢字だけで表された文を「漢文」といいます。

声に出して読みましょう。(20点×1問=20点)

「百聞は一見にしかず」ということわざは、「人の話を何度も聞くよりも、一度自分の目で見るほうがよく分かる。」という意味です。ことわざとしてよく知られているこの言葉は、もとは中国から来たものです。

昔の中国では、「百聞は一見にしかず」を、「百聞不如一見」と書き表していました。

このような文を漢文といい、今のわたしたちが使っている言葉の中にも、昔の中国で生まれた言葉が生きています。

漢文を日本語として読むためのくふうとして、漢字の語順を変えたり、送りがなをつけたりした文を、書き下し文といいます。

漢文 … 聞一以知十

書き下し文 … 一を聞いて以つて十を知る。

意味 … 一つのことを聞いただけで、十のことを知る。

「昔のことを学んで、新しい知識や考え方をを見つけ出す。」という意味の「温故知新」という言葉も、漢文からできた言葉です。

漢文 … 子曰温故而知新可以為師矣

書き下し文 … 子曰はく、「故きを温めて新しきを知る、以つて師となるべし。」と。

意味 … 先生が言われた、「昔のことを学んで新しいことを知れば、人の師となれるだろう。」と。

孔子



聖徳太子の「十七条の憲法」も漢文で書かれていました。

漢文 … 一曰以和為貴無忤為宗

書き下し文 … 一に曰はく、和を以つて貴しとし、忤ふること無きを宗とせよ。

意味 … 一つ。人の和を一番大切に、逆らうことがないようにしなさい。

聖徳太子



上の文章について答えましょう。(10点×4問=40点)

① 「漢文」とはどのような文ですか。

② 漢文を日本語として読むためのくふうとして、漢字の語順を変えたり、送りがなをつけたりした文を何といいますか。

③ 「百聞は一見にしかず」ということわざは、もとはどこの国から来たものですか。

④ 温故而知新 という漢文の意味を書きましょう。

上の文章について、正しいものに○をしましょう。(10点×4問=40点)

① 「人の話を何度も聞くよりも、一度自分の目で見るほうがよく分かる。」という意味を表す漢文はどれですか。

聞一以知十

百聞不如一見

一曰以和為貴無忤為宗

② 「一つのことを聞いただけで、十のことを知る。」という意味を表す漢文はどれですか。

聞一以知十

百聞不如一見

一曰以和為貴無忤為宗

③ 「十七条の憲法」を漢文で書いたのはだれですか。

孔子

孟浩然

聖徳太子

④ 「十七条の憲法」では、何を一番大切にするように書かれていますか。

人の師となること

人の和

自分の目で見ること

中国の詩を「漢詩」といいます。

声に出して読みましょう。(10点×1問=10点)

「春眠あかつきを覚えず」という言葉があります。

「春は暖かくてねごちがよいので、朝が来てもなかなか目を覚ますことができない。」という意味です。

この言葉は、もともと「春暁」という漢詩の一節です。

「春暁」は、約1300年前に、中国の孟浩然という詩人によって書かれました。

孟浩然の詩は、自然の情景を詠んだものが多いです。



孟浩然

漢文	書き下し文	意味
春 眠 不 覚 暁	春眠 暁 を 覚 えず	春に眠ると①朝が来て目も覚めず、
処 処 聞 啼 鳥	処処 啼鳥 を 聞 く	あちこちで②鳥が鳴くのが聞こえる。
夜 来 風 雨 声	夜 来 風 雨 の 声	夜は雨風の音がしていたが、
花 落 知 多 少	花 落 つ る こ と 知 る 多 少	③花はどのくらい散ったのだろうか。

上の文章について答えましょう。(10点×3問=30点)

①	線①で「朝が来て目も覚めず」とありますが、なぜですか。
②	線②で「鳥が鳴くのが聞こえる」とありますが、だれが、どこで聞いているのですか。 だれが... どこで...
③	線③で「花はどのくらい散ったのだろうか」とありますが、何が花を散らせたのですか。

上の文章について、正しいものに○をしましょう。(10点×3問=30点)


①	この漢詩の作者の孟浩然是、どのような詩を詠むことが多かったですか。	教訓に関する詩	愛に関する詩	自然に関する詩
②	この漢詩で、作者は何を表現していますか。	春の朝の喜び	花が散った悲しみ	早起きの辛さ
③	この詩の中で作者が目も覚ましたとき、どのような天気でしたか。	晴れ	雨	雪

漢字の読みでしりとりをして、左上からスタートし右下のゴールまで行きましょう。ななめには進めません。(10点×3問=30点)

①	約	草	芽	道	兆	②	愛	題	候	参	量	③	給	笛	得	組	店
	包	察	祝	組	歌		色	老	倉	陸	銅		上	泳	糸	養	整
	欠	通	牛	粉	達		脈	海	課	名	今		静	南	鏡	駅	家
	続	級	毎	今	対		草	放	農	梅	毎		麦	松	馬	時	岸
	題	漁	石	下	束		昨	雲	物	浴	犬		歴	通	魚	音	食

文と文の間に言葉を加えたり、二文目以降の主語を省略したり、文末の表現に着目したりすると、文が分かりやすくなります。

声に出して読みましょう。(10点×1問=10点)

- | | | |
|---|--|---|
| ① | 文と文の間に言葉を加えると、文と文のつながりが分かりやすくなります。
つなぐ言葉を加えた場合… りく君は練習をしている。 <u>なぜなら</u> 、選手に選ばれたからだ。
指し示す言葉を加えた場合… りく君は練習をしている。 <u>その理由は</u> 、選手に選ばれたからだ。
言葉のくり返しを使う場合… りく君は練習をしている。 <u>練習している理由は</u> 、選手に選ばれたからだ。 |  |
| ② | 二文目以降の主語を省略すると、くどさが無くなり、読みやすい文になります。
主語を省略しない場合… りく君は練習をしている。 <u>りく君は</u> あせだくだ。 <u>りく君は</u> つかれても走り続けている。
主語を省略した場合… りく君は練習をしている。あせだくだ。つかれても走り続けている。 | |
| ③ | 文末の表現に着目すると、文と文のつながりをとらえることができます。
言い切る場合… りく君は練習をしている。どうしても試合に <u>勝ちたいのである</u> 。
理由を説明する場合… りく君は練習をしている。どうしても試合に <u>勝ちたいからだ</u> 。 | |

「かれは有名だ。金メダリストだからだ。」を、指示にしたがって直しましょう。(10点×4問=40点)

- | | |
|---|--------------------------------|
| ① | つなぐ言葉を加えて、文と文のつながりが分かりやすい文に。 |
| ② | 指し示す言葉を使って、文と文のつながりが分かりやすい文に。 |
| ③ | 言葉のくり返しを使って、文と文のつながりが分かりやすい文に。 |
| ④ | 二文目以降の主語を省略して、読みやすい文に。 |

次の「つなぐ言葉」と同じ働きをする言葉を、下から1つずつ選んで書きましょう。(5点×4問=20点)

①	なぜなら	②	しかし	③	だから	④	それとも
けれども あるいは そのため その理由は							

□に合う言葉を、下から1つずつ選んで書きましょう。(5点×6問=30点)

①	時間になりました。 □、試合を始めましょう。	②	今日は勝つ自信があります。 □、かなり練習したからです。	③	この服は値段が安く、 □、デザインがいい。
④	強い風が吹いている。 □、寒くはない。	⑤	朝からお腹が痛かった。 □、学校を休んだ。	⑥	あなたが来ますか、 □、お母さんが来ますか。

なぜなら では だから それとも でも しかも

歴史上の人物が言った言葉や古い書物の一節などの中には、わたしたちの心にうったえかけてくる言葉がたくさんあります。

声に出して読みましょう。(30点×1問=30点)

「徒然草」は、今からおよそ700年ほど昔に兼好法師によって書かれた①随筆です。随筆とは、自分の考えなどをありのままに書く文のことです。「徒然草」には、兼好法師が自分の経験から得た考えや、逸話などが書かれています。



「徒然草」の中に、このような話があります。木登りの名人が、弟子が木登りをするのをながめていました。木の枝がとても高く、いかにも危ないところにいるときは全く声をかけなかったのに、飛びおりてもだいじょうぶなほど低いところに来たときになってはじめて、「気をつけておきなさい。」と注意しました。②このことを不思議に思ったずねてみると、木登りの名人は次のように答えたのです。「高いところにいるときは、自分でも危ないと思っているので、声をかける必要はない。低いところまでおりてきて、もうだいじょうぶだと思ったときに、油断が生じて危ないのだ。」

「徒然草」の筆者である兼好というおぼろさんは、この木登り名人の言葉は、どんなことにも当てはまるだろうと感想を書き記しています。例えば、みんなでちょうせんする長縄とびや、あるいは楽器の演奏などを思い出してみてください。確かに③難しいことにチャレンジしているときは、とても集中しますから、案外失敗しないものです。□、その難しい場面が終わってほっと一息ついたとき、続く簡単ところで失敗してしまったこと、みなさんも経験があるのではないのでしょうか。

このように古典の文章の中には、今のわたしたちにも思い当たることが書かれていることがめずらしくありません。今からずっとずっと昔の時代を生きた人たちによって書かれたものではありませんが、人々の考えること、感じることの中には、今も昔も変わらないものがふくまれているものなのです。

上の文章について答えましょう。(10点×3問=30点)

① 線①の「随筆」とはどのような文ですか。

② 線②の「このこと」とは、木登り名人が弟子に何をしたことですか。

高くて()ところにいるときは声をかけなかったのに、低いところに来たときに()したこと。

③ 線③の「難しいこと」の例として挙げられていることを二つ答えましょう。

()と()

上の文章について、正しいものに○をしましょう。(10点×2問=20点)

① 「法師」とはどういう意味ですか。

師しょう

おぼろさん

名人

② □に合う言葉はどれですか。

だから

つまり

ところが

言葉と意味を線で結びましょう。(5点×4問=20点)

① 初心忘るべからず

② 天は人の上に人を造らず、
人の下に人を造らずといへり。

③ なせば成る なさねば成らぬ 何事も
成らぬは人の なさぬなりけり

④ 千日のけいこを鍛とし、
万日のけいこを練とす。

・ 何事も強い意志を持って行動すれば、やりとげることができる。
結果が得られないのは、意志を持って行動していないからだ。

・ 新しいことを始めたときの自分の未熟さや、
次の段階に進んだときの初めての経験を忘れてはならない。

・ 千日、万日と、ひたすらけいこを続けることが大切である。

・ 人は本来、上下の別なく平等であると言われている。

生活の中で、季節を感じたことや、気づいたことなどから題材を集め、俳句を作りましょう。

声に出して読みましょう。(10点×1問=10点)

俳句は、「五・七・五」の十七音で表現される短い詩で、季節を表す「季語」を入れる決まりがあります。

季節から連想される言葉を集めて、「五・七・五」になるように考えましょう。

A 歩くたび ふわっとまい散る 落ち葉かな

B 羽子板で 今年目標 打ち上げる

C 冬の空夜空に見えるオリオン座

D 木々の群れ葉の服ぬいで春を待つ



上の文章について答えましょう。(5点×4問=20点)

① Aの俳句の季語と季節は何ですか。

季語…() 季節…()

② Bの俳句の季語と季節は何ですか。

季語…() 季節…()

③ Cの俳句を「五・七・五」の三句に分けて書きましょう。

④ Dの俳句を「五・七・五」の三句に分けて書きましょう。

次の言葉が表す季節を書きましょう。(2点×20問=40点)

① たんぼ	② お月見	③ 花見	④ たこあげ	⑤ かみなり
⑥ 初もうで	⑦ 雪解け	⑧ キャンプ	⑨ カブトムシ	⑩ コオロギ
⑪ かぼちゃ	⑫ 金魚	⑬ 柿	⑭ 入学	⑮ マスク
⑯ ひまわり	⑰ みかん	⑱ こたつ	⑲ もみじ	⑳ かえる

問題に答えましょう。(10点×3問=30点)

① 「冬」から連想される言葉を書きましょう。

② ①で書いた言葉を使って、俳句を作りましょう。

③ ②で作った俳句の「初めの五音」と「終わりの五音」を入れかえましょう。

六年で学習した191個の漢字をテストしましょう。

漢字で書きましょう。(3点×30問=90点)

①	さとう ほ □ が □ しい	②	そじゅう こなん □ は □ だ	③	あぶ けいさつしよ □ ない □
④	たまご から わ □ の □ を □ する	⑤	ぎんかけい うちゅう □ の □	⑥	おきな にゅうじ よ □ い □ を □ ぶ
⑦	こうごうへいか つくえ □ の □	⑧	かいこ きぬ そ □ の □ を □ める	⑨	せんきょし ひはん □ の □
⑩	どくそうてき げきだん □ な □	⑪	きび ほうりつ したが □ しい □ に □ う	⑫	しきしゃ えいぞう □ の □
⑬	ちよしゃ ろうどく □ が □ する	⑭	みじゆく かんごし □ な □	⑮	きぼ しゅうしゆく □ が □ する
⑯	おやこうこう わかもの □ な □	⑰	りんじ しゅうしよく □ で □ する	⑱	しゅうきょう そんぼう □ の □
⑲	くちべに のうひん □ を □ する	⑳	じゅもく やさ あら □ を □ しく □ う	㉑	いさん かし □ の □
㉒	せい いずみ ぐんしゅう □ なる □ の □	㉓	こんらん かくさん □ が □ する	㉔	しんぞう きず うたが □ の □ を □ う
㉕	しげん ちよぞう □ を □ する	㉖	けつろん すいそく □ を □ する	㉗	くろしお だんりゅう □ は □ だ
㉘	かぶ けいざいたいさく □ の □	㉙	かんたん つうやく □ に □ する	㉚	じしゃく はへん □ の □

読み方を書きましょう。(2点×5問=10点)

例	しょうじ しめる 障子 を 閉める	①	留守番の時刻	②	巻き尺の誤差
③	家賃 を 負担 する	④	山盛りの蒸パン	⑤	派出所の子供

六年で学習した191個の漢字をテストしましょう。

漢字で書きましょう。(3点×30問=90点)

① ひみつ たから さが □の□を□す	② わたし ゆうびん とど □に□が□く	③ ちゅうしゃばり す □を□てる
④ たんじょうび わす □を□れる	⑤ しょうぐん ちゅうせい □への□	⑥ しろ てんしゅかく □の□
⑦ はいく てんらんかい □の□	⑧ しゅのう そんけい □を□する	⑨ じたく えんそう □で□する
⑩ さいばん ひけつ □で□される	⑪ しょく ほうもん □を□する	⑫ かいだん うら すわ □の□に□る
⑬ あな そ なら □に□って□べる	⑭ せぼね げきつう □の□	⑮ せいとう せんもんし □の□
⑯ けんちょう きんむ □に□する	⑰ かくしんてき ふくそう □な□	⑱ かざんばい しょり □の□
⑲ きちょう すがた おが □な□を□む	⑳ はい こきゅう □で□する	㉑ こうてつ きんにく □のような□
㉒ けんぼう じゅうし □を□する	㉓ どうろん こうふん □に□する	㉔ てつぼう お □から□りる
㉕ はんちょう こうほしゃ □の□	㉖ しきゅう えんき □、□する	㉗ いっさつ まいすう □の□
㉘ じよせつ くいき □する□	㉙ かし たんじゅん □が□だ	㉚ わがや ばん □の□ごはん

読み方を書きましょう。(2点×5問=10点)

例 たれまく すんぼう 垂れ幕の寸法	① 同窓会の翌日	② 故郷で暮らす
③ 同盟国の仁義	④ 地層が異なる	⑤ 人権を認める

1	6年の漢字①	制限時間 20分	合格点 80点	点
---	--------	-------------	------------	---

漢字に共通している部分を、部首といいます。れい)紙、線、絵、細、組

漢字をていねいになぞりましょう。(2点×8問=16点)

	も 盛る やまも 山盛り	おとごさか 男盛り さいせいき 最盛期		ま 巻く まきもの 巻物	かんまつ 巻末 だいいっかん 第一巻
	してん 視点 しりょく 視力	しや 視野 じゅうし 重視		わ 割る わざん 割り算	やくわり 役割 わりびき 割引
	なら 並ぶ しちなら 七並べ	ひとなみ 人並 なみき 並木		きず 傷 きずぐすり 傷薬	ふしょう 負傷 じゅうしょう 重傷
	すな 砂 すなば 砂場	さてつ 砂鉄 さきん 砂金		ろうどく 朗読 ろうほう 朗報	ろうろう 朗々 めいろう 明朗

漢字で書きましょう。(5点×15問=75点)

①	も かいじょう 会場を 盛 り上げる	②	さいせいき 最盛期 を迎える	③	しや 視野 が広い
④	じゅうし せいせき 成績を 重視 する	⑤	なら じゅんばん 順番に 並 べる	⑥	なみきみち 並木道 を歩く
⑦	すなば こうえん 公園の 砂場	⑧	さてつ じしゃく 磁石で 砂鉄 を集める	⑨	ま タオルを頭に 巻 く
⑩	かんまつ 巻末 の漢字表	⑪	わ さら 皿が 割 れる	⑫	やくわり 役割 を果たす
⑬	きずぐち 傷口 が開く	⑭	ふしょう じこ 事故で 負傷 する	⑮	ろうどく し 詩を 朗読 する

読み方を書きましょう。(3点×3問=9点)

①	まきもの にんじゃ 忍者の 巻物	②	ろうほう ごうかく 合格の 朗報 が届く	③	ちやうなん 長男 が跡を継ぐ
---	-------------------------------	---	-----------------------------------	---	--------------------------

3	6年の漢字②	制限時間 20分	合格点 80点	点
---	--------	-------------	------------	---

左につく部首を「へん」といいます。れい)紙、線、絵 → 「いとへん」 校、村、林 → 「きへん」

漢字をていねいになぞりましょう。(2点×8問=16点)

	こと 異なる	いぎ 異議		じょうしゃけん 乗車券	ていきけん 定期券
	いじょう 異常	いへん 異変		にゅうじょうけん 入場券	しょうたいけん 招待券
	ろん 論じる	けつろん 結論		かぶ 株	かぶしき 株式
	ろんぶん 論文	ぎろん 議論		きかぶ 切り株	かぶか 株価
	じしゃく 磁石	じば 磁場		ちいき 地域	りょういき 領域
	じりょく 磁力	じき 磁気		くいき 区域	りゅういき 流域
	しゃく 尺	しゃくはち 尺八		しゅうきょう 宗教	しゅうもん 宗門
	しゃくど 尺度	まじやく 巻き尺		しゅうは 宗派	かいしゅう 改宗

漢字で書きましょう。(5点×15問=75点)

①	こと かんが かんが 考え方が 異 なる	②	いじょう 異常 がみ つかる	③	ろん えいが 映画について 論 じる
④	ろんぶん はかせ 博士が 論文 を書く	⑤	じりょく でんりゅう なが 電流を流したときの 磁力	⑥	じき てつ 鉄が 磁気 を帯びる
⑦	いっしゃく 一尺 は約30cm だ	⑧	しゃくはち 尺八 の音色	⑨	にゅうじょうけん ゆうえん ち 遊園地の 入場券
⑩	かぶけん 株券 を保管する	⑪	かぶか 株価 がさがる	⑫	ちいき 地域 の行事
⑬	りゅういき たか つがわ 高津川の 流域	⑭	しゅうきょう 宗教 を信じる	⑮	しゅうは ぶっきょう 仏教の 宗派

読み方を書きましょう。(3点×3問=9点)

①	じしゃく きょうりょく 強力な 磁石	②	まじやく 巻き尺 はか で測る	③	きりかぶ 切り株 に座る
---	---------------------------------	---	---------------------------	---	------------------------

国語のノートには、学習で分かったことだけでなく、自分の考えや参考になる友達の考えも書きましょう。

声に出して読みましょう。(30点×1問=30点)

四月十五日
サボテンの花

今日のめあて

「サボテンの花」をどのように朗読するかを話し合う。

風 「ここに生えるのはむだ」
「役に立たない。」
「ばかだな。」

サボテン 「ねむるようにくらすより、たたかいながら生きたい。」
「むだじゃなかった。」
「生きるということは助け合うことだ。」

自 サボテンはとても強いと思った。
・たたかいながら生きているから。
・切られても、自分の生き方がむだではないと信じていたから。


自 サボテンはやさしいと思った。
・旅人のことを助けたから。
・切られて苦しむのに満足しているから。

友 「一つの意志のように」という言葉に、強さを感じた。

友 旅人を助けて、生きてきた意味がはっきりしたと思う。

今日のまとめ

話し合いをしながら、サボテンの強さややさしさについて考えた。朗読するときには、サボテンの生き方から感じた意志の強さを想像しながら、サボテンの強さややさしさが伝わるようにくふうして読みたい。



学習して分かった大切なことや、次の学習に生かしたいことなどをまとめる。

十分に余白を取り、友だちの意見などを、書き加えられるようにする。

関係のあるところを線や矢印でつないで、考えを整理する。

学習を進めていくうえで大切なことは、線で囲んで目立たせる。

上の文章について、正しいものに○をしましょう。(10点×5問=50点)

①	学習を進めていくうえで大切なことは、どうですか。	べつのノートに書く。	ほかの文と同じように書く。	線で囲んで目立たせる。
②	関係のあるところを線や矢印でつなぐのは、何のためですか。	きれいなデザインにするため。	考えを整理するため。	余白を取るため。
③	余白を取るのは、何のためですか。	ノートをきれいに見せるため。	友だちの意見などを書き加えるため。	新しい漢字を練習するため。
④	サボテンの生き方について、内容と合わないものはどれですか。	とてもさみしい。	とても強い。	とてもやさしい。
⑤	「『一つの意志のように』という言葉に強さを感じた」というのは、だれの意見ですか。	自分	先生	友だち

上の文章について答えましょう。(10点×2問=20点)

①	今日のめあては何ですか。
	「サボテンの花」をどのように朗読するかを話し合う。
②	今日のまとめには、何を書きますか。
	(学習して分かった大切なこと) や、次の学習に生かしたいことなどを書く。

二字以上の漢字を組み合わせてできた漢字を「熟語」といいます。

声に出して読みましょう。(20点×1問=20点)

一字+二字の三字熟語

最初の一字が、あとに続く言葉の性質を限定するもの。

新記録→新+記録、大自然→大+自然

「不・無・非・未」などがあとに続く言葉を否定するもの。

不規則→不+規則、無責任→無+責任

二字+一字の三字熟語

最初の二字が、あとに続く言葉を修飾するもの。

電車賃→電車+賃、時刻表→時刻+表

「的・性・化」などが、最初の二字に意味をそえるもの。

近代的→近代+的、重要性→重要+性

一字+一字+一字の三字熟語

関連のある言葉が三つ並ぶもの。

松竹梅→松+竹+梅、上中下→上+中+下

四字以上の熟語は、いろいろな構成の種類があります。

東西南北→東+西+南+北、臨時列車→臨時+列車、不信任案→不+信任+案、基本的人権→基本+的+人権



下の三字熟語を、構成ごとに五種類に分けましょう。(10点×5問=50点)

① 一字+二字の三字熟語で、最初の一字が、あとに続く言葉の性質を限定するもの。

副会長、短期間、新発売、大人物、長時間

② 一字+二字の三字熟語で、「不・無・非・未」などがあとに続く言葉を否定するもの。

不自由、無意味、非常識、未公開、非公式

③ 二字+一字の三字熟語で、最初の二字が、あとに続く言葉を修飾するもの。

入学式、運動場、音楽家、回復力、警察署

④ 二字+一字の三字熟語で、「的・性・化」などが、最初の二字に意味をそえるもの。

理想的、芸術的、植物性、自由化、合理化

⑤ 一字+一字+一字の三字熟語で、関連のある言葉が三つ並ぶもの。

陸海空、大中小、衣食住、金銀銅、市町村

副会長、入学式、理想的、陸海空、不自由、無意味、運動場、大中小、衣食住、芸術的、短期間、非常識、新発売、音楽家、植物性、大人物、金銀銅、自由化、未公開、回復力、長時間、警察署、合理化、非公式、市町村

□に「不」「無」「非」「未」のどれかを入れて、三字熟語を作りましょう。(3点×5問=15点)

例	未 ^{しやう しやうひん かせ} 使用の商品を返す。	①	不 ^{こうへい しゃかい か} 公平な社会を変える。	②	資源を無 ^{しげん せいげん りよう} 制限に利用する。
③	未 ^{かんせい さくひん こうかい} 完成の作品を公開する。	④	非 ^{じょうしき こうどう ちゅうい} 常識な行動を注意する。	⑤	試験は不 ^{しけん ごうかく} 合格だった。

□に「性」「的」「化」のどれかを入れて、三字熟語を作りましょう。(3点×5問=15点)


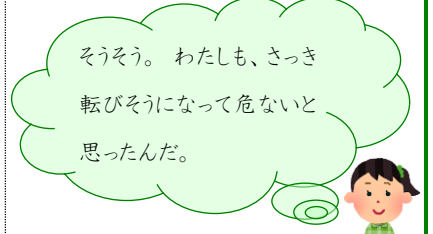

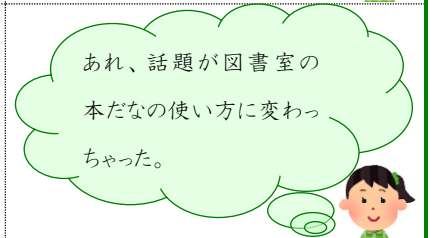

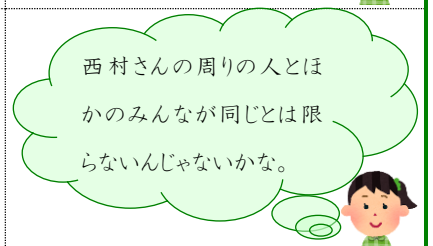
例	彼は典型 ^{かれ てんけい} 的 ^{てき} なアメリカ人 ^{じん} だ。	①	負ける可能 ^{ま かのう} 性 ^{せい} が高い。	②	日本の少子 ^{にほん しょうし} 化 ^か が進む。
③	基本 ^{きほん} 的 ^{てき} なことを学ぶ。	④	あの選手は意外 ^{せんしゅ いがい} 性 ^{せい} がある。	⑤	学費を無料 ^{がくひ むりよう} 化 ^か する。

人の意見を聞くときは、意見に対して挙げられている理由が適切かを考えながら聞くことが大切です。

声に出して読みましょう。(20点×1問=20点)

梅山さんは、「教室で気持ちよく過ごすために、昼休みに、クラス全員で整理整頓をする時間を作る」という提案をしました。

提案に対する三人の発言を読み、その理由が適切かを考えましょう。

	<p>わたしは、梅山さんの提案に賛成です。</p> <p>なぜかという、ロッカーから物がはみ出していたり、机の横に物がたくさんぶら下がっていたりして、危ないと思っていたからです。机と机の間を通るときに、引っかかって転びそうになった人も多いのではないでしょうか。また、<u>①いつも整理整頓をしていれば、教室がきれいになるので、クラスがもっと仲良くなると思います。</u></p>	 <p>そうそう。わたしも、さっき転びそうになって危ないと思ったんだ。</p>
	<p>ぼくは、全員で整理整頓をすることに <input type="text" value="②"/> です。</p> <p>理由は、毎日かたづける時間を作れば、みんながふだんから整理整頓を意識するようになると思うからです。そうすれば教室も図書室もいつもきれいになるのではないのでしょうか。ぼくが入っている図書委員会では、本だながすぐに乱れてしまうことが問題になっています。読んだ本は、正しい位置にもどすようにしてください。</p>	 <p>あれ、話題が図書室の本だなの使い方に変わった。</p>
	<p>ぼくは、提案には <input type="text" value="③"/> です。</p> <p>その理由は、昼休みに、友達と遊ぶ時間が少なくなるからです。友達といちばんゆっくり過ごせるのは、時間が長い昼休みです。周りの人に聞いてみると、みんな、昼休みは遊びたいと言っていました。ほかのみんなも、昼休みが短くなるのはいやだと思っているはず。そうじ時間に、整理整頓するのはどうですか。</p>	 <p>西村さんの周りの人とほかのみんなが同じとは限らないんじゃないかな。</p>

上の文章について、正しいものに○をしましょう。(10点×3問=30点)

①	線①の意見が、あまり適切ではないのは、どのような点ですか。	反対意見の理由になっている。	整理整頓と仲良くなるのがつながらない。	整理整頓する場所が述べられていない。
②	<input type="text" value="②"/> に合う言葉はどれですか。	<input checked="" type="radio"/> 賛成	<input type="radio"/> 中立	<input type="radio"/> 反対
③	<input type="text" value="③"/> に合う言葉はどれですか。	<input type="radio"/> 賛成	<input type="radio"/> 中立	<input checked="" type="radio"/> 反対

上の文章について答えましょう。(10点×2問=20点)

①	梅山さんの提案では、整理整頓の時間はいつになっていますか。 昼休み
②	西村さんは、整理整頓の時間をいつにするように提案していますか。 そうじ時間

上の文章で、意見に対して挙げられている理由が適切なら○、適切でないなら△を書きましょう。(5点×6問=30点)

①	[山田さん] 理由…物がロッカーからはみ出していたりして危ない。	○
②	[山田さん] 理由…いつも整理整頓をしていれば、教室がきれいになり、クラスがもっと仲良くなる。	△
③	[大山さん] 理由…毎日かたづける時間を作れば、ふだんから整理整頓を意識するようになる。	○
④	[大山さん] 理由…図書委員会では、本だながすぐに乱れてしまうことが問題になっている。	△
⑤	[西村さん] 理由…昼休みに、友達と遊ぶ時間が少なくなる。	○
⑥	[西村さん] 理由…ほかのみんなも、昼休みが短くなるのはいやだと思っているはず。	△

二つ以上の言葉が結び付いてできた言葉を複合語といいます。

声に出して読みましょう。(10点×1問=10点)

昔から日本で使われてきた言葉や、その言葉が変化してできた言葉を「和語」といいます。

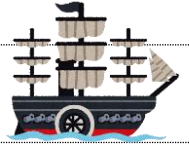
「和語」は、ひらがなや漢字の訓を使って書き表します。(例)星^{ほし}、朝^{あさ}、走る^{はし}、考える^{かんが}、悲しい^{かな}、おだやかだ

昔、中国から伝わって日本語として使われるようになった言葉や、漢字の音を使って日本で作られた言葉を「漢語」といいます。

「漢語」は、漢字だけで書き表し、読むときは音読みで読みます。(例)肉^{にく}、愛^{あい}、植物^{しょくぶつ}、均一^{きんいつ}、感謝^{かんしゃ}

中国以外の外国から入ってきて、日本語として使われるようになった言葉を「外来語」といいます。

「外来語」は、かたかなで書き表します。(例)カステラ、ペンキ、エネルギー、ガーゼ、クレヨン、マヨネーズ



「和語」+「和語」の複合語…うらの+山→うら山、話す+続ける→話し続ける

「漢語」+「漢語」の複合語…中間の+発表→中間発表、集合する+場所→集合場所

「外来語」+「外来語」の複合語…ペンの+ケース→ペンケース、カードの+ゲーム→カードゲーム

複合語は、結び付くときに、発音が変わることもあります…本+たな→本だな、あめ+くも→あまぐも、とぶ+上がる→とび上がる

複合語が長くなる場合は、短縮して表されることもあります…高等な+学校→高等学校→高校

上の文章について答えましょう。(10点×3問=30点)

① 「和語」についての説明を完成させましょう。

昔から(**日本**)で使われてきた言葉で、(**ひらがな**)や(**漢字の訓**)で書き表す。

② 「漢語」についての説明を完成させましょう。

昔、(**中国**)から伝わって日本語として使われるようになった言葉で、(**漢字**)だけで書き表す。

③ 「外来語」についての説明を完成させましょう。

(**中国**)以外の外国から入ってきて、日本語として使われるようになった言葉で、(**かたかな**)で書き表す。

二つの言葉を組み合わせた複合語を書きましょう。(3点×12問=36点)

①	昼の+休み	②	ピアノの+教室	③	輸入した+品	④	消すための+ゴム
	昼休み		ピアノ教室		輸入品		消しゴム
⑤	細い+長い	⑥	暑い+苦しい	⑦	早い+起きる	⑧	ボール+投げる
	細長い		暑苦しい		早起き		ボール投げ
⑨	おかしな+はなし	⑩	ふねの+たび	⑪	かぜ+くるま	⑫	あめ+かさ
	おかしばなし		ふなたび		かざぐるま		あまがさ






複合語を短縮して表しましょう。(3点×8問=24点)

①	短期大学	②	特別急行	③	教科用図書	④	主食用パン
	短大		特急		教科書		食パン
⑤	スマートフォン	⑥	コンビニエンスストア	⑦	パーソナルコンピュータ	⑧	から 空オーケストラ
	スマホ		コンビニ		パソコン		カラオケ

俳句や短歌では、詩の印象を深めるために、「字足らず」や「字余り」であえてリズムをくずすことがあります。

また、詩の印象を深めるために、たとえを使ったり、言葉の順序を入れかえたり、同じ言葉をくり返したりすることもあります。

声に出して読みましょう。(10点×1問=10点)

A	さびしさや 一尺消えて ゆくほたる 少し光ってから消えていくほたるは、さびしいものだ。	たちばな ぼくし 立花 北枝	
B	六月の 氷菓一盞の 別れかな 六月にアイスを一盛りだけ食べて別れてしまったなあ。	なかむら くさた お 中村 草田男	
C	夏草や 兵どもが 夢の跡 夏草が生い茂っているこは、武士たちが栄光を夢見た戦争のあとだ。	まつ お ば しょう 松尾 芭蕉	
D	音もせで 思ひにもゆる ほたるこそ 鳴く虫よりも あはれなりけれ 鳴き声も出さずに恋しい思いに燃えるほたるは、鳴く虫よりもおもむきがある。	みなものの しげゆき 源 重之	
E	ねこの子の くびの鈴が音 かすかにも おとのしみたる 夏草のうち 夏草の中で、ねこの子の首の鈴の音がかすかに聞こえた。	おおくま ことみち 大隈 言道	

上の俳句や短歌について、正しいものに○をしましょう。(10点×5問=50点)

①	Aの俳句の季語と季節は何ですか。	季語…ほたる 季節…春	季語…ほたる 季節…夏	季語…一尺 季節…夏
②	Bの俳句では、印象を深めるために、どことなくふうが使われていますか。	たとえを使っている。	言葉の順番を入れかえている。	あえて音数をくずしている。
③	Cの俳句の「兵」とは、どんな人のことを表していますか。	強い人	武士	夢を追う人
④	Dの短歌の「思ひにもゆる」の部分の説明として、正しいものを選びましょう。	ほたるの動作を人の動作にたとえている。	人の動作をほたるの動作にたとえている。	だれ誰の動作か分からないようにしている。
⑤	Eの短歌では、印象を深めるために、どことなくふうが使われていますか。	たとえを使っている。	言葉の順番を入れかえている。	あえて音数をくずしている。

声に出して読みましょう。(10点×1問=10点)

心臓から送り出された新鮮な血液は 十数秒で全身をめぐる
わたしはさっきのわたしではない ① そしてあなたも わたしたちはいつも新しい
さなぎからかえったばかりの蝶が 生まれたばかりの陽炎の中でゆれる
② あの花は きのはまだ蕾だった
海を渡ってきた新しい風がほら 踊りながら走ってくる 自然はいつも新しい
きのは知らなかったことを きょう知る喜び
きのは気がつかなかったけど きょう見えてくることもある
日々新しくなる世界 古代史の一部がまた塗り替えられる ③ 過去でさえ新しくなる









上の詩について、正しいものに○をしましょう。(10点×3問=30点)

①	①の「そしてあなたも」に言葉を続けるとすると、どんな言葉が入りますか。	新しい	さっきのわたしではない	さっきのあなたではない
②	②の「あの花」は今どんな状態ですか。	まだつぼみ	咲いたばかり	もう枯れそう
③	③の「過去でさえ新しくなる」のように作者が考えるのはなぜですか。	過去の中には知らないこともあるから。	過去はやり直すことができるから。	過去にはためになる教えがあるから。

問題を解決するためには、問題の原因を明らかにしたうえで、解決する方法を考えることが大切です。

声に出して読みましょう。(20点×1問=20点)

<p>司会</p> 	<p>今日の議論は「どうすれば六年生がもっと学校図書館を利用するようになるのか。」です。 議論の提案者は、図書委員の大川さんです。 大川さん、議論について説明してください。</p>	
<p>大川</p> 	<p>はい。この議論を提案した理由は、六年生になって図書館を利用する人が減っていることが分かったからです。 図書委員会では、毎月学年ごとの利用者数を調べています。 先月の六年生の利用者数を数えると、ぼくたちが五年生のときと比べて、およそ半分に減っていました。 どうすれば六年生がもっと図書館を利用するようになるのか、みんなで考えたいと思います。よろしくお願いします。</p>	
<p>司会</p> 	<p>議論について質問はありませんか。 なければ、話し合いを進めます。 まず、利用する人が減った原因を考え、次に、原因ごとに問題を解決する方法を考えます。 自分たちでできることを考えましょう。</p>	
<p>石田</p> 	<p>本を読まない人が増えているのではないのでしょうか。 六年生になっていそがしくなり、わたしも本を読む時間が減ってしまいました。</p>	
<p>内野</p> 	<p>ぼくも、本を読まない人が増えていることが原因だと思います。 <input type="text"/>、その理由は、いそがしいということだけではなく、本に興味がなくなっているためではないのでしょうか。 友達は、本よりゲームのほうがおもしろいと言っていました。</p>	

上の文章について答えましょう。(10点×4問=40点)

①	<p>今日の議論は何ですか。</p> <p>どうすれば六年生がもっと学校図書館を利用するようになるのか。</p>
②	<p>今日の議題の提案者はだれですか。</p> <p>(図書)委員の(大川)さん。</p>
③	<p>司会が話し合いの進め方を説明している一文の、初めの五文字を答えましょう。「、」も一字に数えます。</p> <p>まず、利用</p>
④	<p>学校図書館を利用する人が減ったことについて、石田さんと内野さんは何が原因だと発表していますか。</p> <p>(例)本を読まない人が増えていること。</p>

上の文章について、正しいものに○をしましょう。(10点×4問=40点)

①	<p>図書委員会は、毎月何を調べていますか。</p> <p>学校全体の本の貸し出し数。 学年ごとの人気の本の種類。 学年ごとの利用者数。</p>		
②	<p>学校図書館を先月利用した六年生の人数は、五年生のときと比べてどうなりましたか。</p> <p>少したけ減った。 およそ半分に減った。 変わらなかった。</p>		
③	<p>本を読まない人が増えていることについて、石田さんは何が理由だと考えていますか。</p> <p>いそがしくなったから。 本に興味がなくなったから。 低学年向けの本が多いから。</p>		
④	<p><input type="text"/>に合う言葉はどれですか。</p> <p>だから ただ まず</p>		

人に敬意を表したり、ていねいに言ったりするときの言い方を敬語といひ、「尊敬語」、「けんじょう語」、「ていねい語」があります。

声に出して読みましょう。(20点×1問=20点)

尊敬語は、話し相手や話題になっている人を高めて言う言い方です。

- ① 特別な言葉を使う言い方 「先生のおっしゃることを聞く。「お客様がお食事をめしあがる」
- ② 「お」や「ご」を付ける言い方 「先生がお帰りになる。「ご入学おめでとございます。」
- ③ 「れる」「られる」をそえる言い方 「先生が本を読まれる。「お客様が食事を始められる。」



けんじょう語は、自分や家族に関わることを低めて言う言い方です。

- ① 特別な言葉を使う言い方 「招待券をいただく。「感謝の言葉を申しあげる。「代わりに兄が参ります。」
- ② 「お」や「ご」を付ける言い方 「わたしが荷物をおとどけする。「お客様を会場までご案内する。」

ていねい語は、ことからをていねいに言う言い方です。

- ① 「です」「ます」を使う言い方 「発表会は、来週の土曜日です。「わたしは、毎朝六時に起きます。」
- ② 「お」や「ご」を付ける言い方 「テーブルにおはしをならべる。「みんなでご飯を食べる。」

いそがしそうな相手に話しかける場面や、たのみごとをするときには、次のような前置きの言葉を使ったり、言い方をくふうしたりします。

「ちょっと、いい。」「悪いけど、」「すみませんが、」「申し訳ありませんが、」「～してもらえませんか。」
また、言葉づかいはていねいでも、「～してあげます。」のような言い方は、親切をおしつけているようで良くありません。

下線部の言葉を尊敬語やけんじょう語に直すのに、正しいほうに○をしましょう。(3点×10問=30点)

① 先生がケーキを <u>食べる</u> 。(尊敬語) めしあがる いただく	② わたしが弁当を <u>食べる</u> 。(けんじょう語) めしあがる いただく
③ 先生がわたしに <u>言う</u> 。(尊敬語) おっしゃる 申しあげる	④ わたしが先生に <u>言う</u> 。(けんじょう語) おっしゃる 申しあげる
⑤ 先生がわたしの方へ <u>来る</u> 。(尊敬語) 参る いらっしゃる	⑥ わたしが先生の方へ <u>行く</u> 。(けんじょう語) 参る いらっしゃる
⑦ 先生がわたしに本を <u>くれる</u> 。(尊敬語) さしあげる くださる	⑧ わたしが先生に本を <u>あげる</u> 。(けんじょう語) さしあげる くださる
⑨ 先生がわたしの絵を <u>見る</u> 。(尊敬語) ごらんになる はいけんする	⑩ わたしが先生の絵を <u>見る</u> 。(けんじょう語) ごらんになる はいけんする

下線部の敬語が、尊敬語・けんじょう語・ていねい語のどれなのかを書きましょう。(4点×9問=36点)

① わたしは、朝食にパンを <u>食べます</u> 。 ていねい語	② お客様がお茶を <u>飲まれる</u> 。 尊敬語	③ 自分のことを少し <u>お話する</u> 。 けんじょう語
④ 自分でお弁当を <u>作り</u> ました。 ていねい語	⑤ お客様に遊び方をご <u>説明</u> する。 けんじょう語	⑥ <u>ご心配</u> をおかけしました。 尊敬語
⑦ <u>お大事</u> になさってください。 尊敬語	⑧ これは彼が書いた本 <u>です</u> 。 ていねい語	⑨ こちらの本を <u>さし上げる</u> 。 けんじょう語

場面に応じた言い方で書きましょう。(7点×2問=14点)

① いそがしそうな友だちに、手伝いをたのおとき。 (例)悪いけど、手伝ってもらえる。	② 来客を駅まで送ってあげるとき。 (例)駅まで送りましょうか。
---	-------------------------------------

昔の中国で書かれた、漢字だけで表された文を「漢文」といいます。

声に出して読みましょう。(20点×1問=20点)

「百聞は一見にしかず」ということわざは、「人の話を何度も聞くよりも、一度自分の目で見るほうがよく分かる。」という意味です。

ことわざとしてよく知られているこの言葉は、もとは中国から来たものです。

昔の中国では、「百聞は一見にしかず」を、「百聞不如一見」と書き表していました。

このような文を漢文といい、今のわたしたちが使っている言葉の中にも、昔の中国で生まれた言葉が生きています。

漢文を日本語として読むためのくふうとして、漢字の語順を変えたり、送りがなをつけたりした文を、書き下し文といいます。

漢文 … 聞一以知十

書き下し文 … 一を聞いて以つて十を知る。

意味 … 一つのことを聞いただけで、十のことを知る。

「昔のことを学んで、新しい知識や考え方を見つけ出す。」という意味の「温故知新」という言葉も、漢文からできた言葉です。

漢文 … 子曰温故而知新可以為師矣

書き下し文 … 子曰はく、「故きを温めて新しきを知る、以つて師となるべし。」と。

意味 … 先生が言われた、「昔のことを学んで新しいことを知れば、人の師となれるだろう。」と。

孔子



聖徳太子の「十七条の憲法」も漢文で書かれていました。

漢文 … 一曰以和為貴無忤為宗

書き下し文 … 一に曰はく、和を以つて貴しとし、忤ふること無きを宗とせよ。

意味 … 一つ。人の和を一番大切に、逆らうことがないようにしなさい。

聖徳太子



上の文章について答えましょう。(10点×4問=40点)

① 「漢文」とはどのような文ですか。

(例)昔の中国で書かれた、漢字だけで表された文。

② 漢文を日本語として読むためのくふうとして、漢字の語順を変えたり、送りがなをつけたりした文を何といいますか。

書き下し文

③ 「百聞は一見にしかず」ということわざは、もとはどこの国から来たものですか。

中国

④ 温故而知新 という漢文の意味を書きましょう。

(例)昔のことを学んで、新しい知識や考え方を見つけ出す。

上の文章について、正しいものに○をしましょう。(10点×4問=40点)

① 「人の話を何度も聞くよりも、一度自分の目で見るほうがよく分かる。」という意味を表す漢文はどれですか。

聞一以知十

百聞不如一見

一曰以和為貴無忤為宗

② 「一つのことを聞いただけで、十のことを知る。」という意味を表す漢文はどれですか。

聞一以知十

百聞不如一見

一曰以和為貴無忤為宗

③ 「十七条の憲法」を漢文で書いたのはだれですか。

孔子

孟浩然

聖徳太子

④ 「十七条の憲法」では、何を一番大切にするように書かれていますか。

人の師となること

人の和

自分の目で見ること

中国の詩を「漢詩」といいます。

声に出して読みましょう。(10点×1問=10点)

「春眠あかつきを覚えず」という言葉があります。

「春は暖かくてねごちがよいので、朝が来てもなかなか目を覚ますことができない。」という意味です。

この言葉は、もともと「春暁」という漢詩の一節です。

「春暁」は、約1300年前に、中国の孟浩然という詩人によって書かれました。

孟浩然の詩は、自然の情景を詠んだものが多いです。

孟浩然



漢文	書き下し文	意味
春眠不覚暁	春眠暁を覚えず	春に眠ると①朝が来ても目が覚めず、
处处聞啼鳥	处处啼鳥を聞く	あちこちで②鳥が鳴くのが聞こえる。
夜来風雨声	夜来風雨の声	夜は雨風の音がしていたが、
花落知多少	花落つこと知る多少	③花はどのくらい散ったのだろうか。

上の文章について答えましょう。(10点×3問=30点)

①	線①で「朝が来ても目が覚めず」とありますが、なぜですか。 (例)春は暖かくてねごちがよいから。
②	線②で「鳥が鳴くのが聞こえる」とありますが、だれが、どこで聞いているのですか。 だれが…作者(孟浩然) どこで…ねどこ(ふとんの中)
③	線③で「花はどのくらい散ったのだろうか」とありますが、何が花を散らせたのですか。 雨風

上の文章について、正しいものに○をしましょう。(10点×3問=30点)


①	この漢詩の作者の孟浩然是、どのような詩を詠むことが多かったですか。 <table border="1"> <tr> <td>教訓に関する詩</td> <td>愛に関する詩</td> <td>自然に○関係する詩</td> </tr> </table>	教訓に関する詩	愛に関する詩	自然に○関係する詩
教訓に関する詩	愛に関する詩	自然に○関係する詩		
②	この漢詩で、作者は何を表現していますか。 <table border="1"> <tr> <td>春の朝の喜び</td> <td>花が散った悲しみ</td> <td>早起きの辛さ</td> </tr> </table>	春の朝の喜び	花が散った悲しみ	早起きの辛さ
春の朝の喜び	花が散った悲しみ	早起きの辛さ		
③	この詩の中で作者が目覚めたとき、どのような天気でしたか。 <table border="1"> <tr> <td>○晴れ</td> <td>雨</td> <td>雪</td> </tr> </table>	○晴れ	雨	雪
○晴れ	雨	雪		

漢字の読みでしりとりをして、左上からスタートし右下のゴールまで行きましょう。ななめには進めません。(10点×3問=30点)

①	②	③
約 草 芽 道 兆	愛 題 候 参 量	給 笛 得 組 店
包 察 祝 組 歌	色 老 倉 陸 銅	上 泳 糸 養 整
欠 通 牛 粉 達	脈 海 課 名 今	静 南 鏡 駅 家
続 級 毎 今 対	草 放 農 梅 毎	麦 松 馬 時 岸
題 漁 石 下 束	昨 雲 物 浴 犬	歴 通 魚 音 食

文と文の間に言葉を加えたり、二文目以降の主語を省略したり、文末の表現に着目したりすると、文が分かりやすくなります。

声に出して読みましょう。(10点×1問=10点)

- | | | |
|---|--|---|
| ① | 文と文の間に言葉を加えると、文と文のつながりが分かりやすくなります。
つなぐ言葉を加えた場合… りく君は練習をしている。 <u>なぜなら</u> 、選手に選ばれたからだ。
指し示す言葉を加えた場合… りく君は練習をしている。 <u>その理由は</u> 、選手に選ばれたからだ。
言葉のくり返しを使う場合… りく君は練習をしている。 <u>練習している理由は</u> 、選手に選ばれたからだ。 |  |
| ② | 二文目以降の主語を省略すると、くどさが無くなり、読みやすい文になります。
主語を省略しない場合… りく君は練習をしている。 <u>りく君は</u> あせだくだ。 <u>りく君は</u> つかれても走り続けている。
主語を省略した場合… りく君は練習をしている。 あせだくだ。 <u>つかれても</u> 走り続けている。 | |
| ③ | 文末の表現に着目すると、文と文のつながりをとらえることができます。
言い切る場合… りく君は練習をしている。 <u>どうしても試合に勝ちたいのである</u> 。
理由を説明する場合… りく君は練習をしている。 <u>どうしても試合に勝ちたいから</u> だ。 | |

「かれは有名だ。金メダリストだからだ。」を、指示にしたがって直しましょう。(10点×4問=40点)

- | | |
|---|--|
| ① | つなぐ言葉を加えて、文と文のつながりが分かりやすい文に。
(例)かれは有名だ。なぜなら、かれは金メダリストだからだ。 |
| ② | 指し示す言葉を使って、文と文のつながりが分かりやすい文に。
(例)かれは有名だ。その理由は、かれは金メダリストだからだ。 |
| ③ | 言葉のくり返しを使って、文と文のつながりが分かりやすい文に。
(例)かれは有名だ。有名な理由は、かれは金メダリストだからだ。 |
| ④ | 二文目以降の主語を省略して、読みやすい文に。
(例)かれは有名だ。金メダリストだからだ。 |

次の「つなぐ言葉」と同じ働きをする言葉を、下から1つずつ選んで書きましょう。(5点×4問=20点)

①	なぜなら	②	しかし	③	だから	④	それとも
	その理由は		けれども		そのため		あるいは
けれども あるいは そのため その理由は							

□に合う言葉を、下から1つずつ選んで書きましょう。(5点×6問=30点)

①	時間になりました。 □、試合を始めましょう。	②	今日は勝つ自信があります。 □、かなり練習したからです。	③	この服は値段が安く、 □、デザインがいい。
	では		なぜなら		しかも
④	強い風が吹いている。 □、寒くはない。	⑤	朝からお腹が痛かった。 □、学校を休んだ。	⑥	あなたが来ますか、 □、お母さんが来ますか。
	でも		だから		それとも
なぜなら では だから それとも でも しかも					

歴史上の人物が言った言葉や古い書物の一節などの中には、わたしたちの心にうったえかけてくる言葉がたくさんあります。

声に出して読みましょう。(30点×1問=30点)

「徒然草」は、今からおよそ700年ほど昔に兼好法師によって書かれた①随筆です。随筆とは、自分の考えなどをありのままに書く文のことです。「徒然草」には、兼好法師が自分の経験から得た考えや、逸話などが書かれています。



「徒然草」の中に、このような話があります。木登りの名人が、弟子が木登りをするのをながめていました。木の枝がとても高く、いかにも危ないところにいるときは全く声をかけなかったのに、飛びおりてもだいじょうぶなほど低いところに来たときになってはじめて、「気をつけておきなさい。」と注意しました。②このことを不思議に思ったずねてみると、木登りの名人は次のように答えたのです。「高いところにいるときは、自分でも危ないと思っているので、声をかける必要はない。低いところまでおりてきて、もうだいじょうぶだと思ったときに、油断が生じて危ないのだ。」

「徒然草」の筆者である兼好というおぼろさんは、この木登り名人の言葉は、どんなことにも当てはまるだろうと感想を書き記しています。例えば、みんなでちょうせんする長縄とびや、あるいは楽器の演奏などを思い出してみてください。確かに③難しいことにチャレンジしているときは、とても集中しますから、案外失敗しないものです。□、その難しい場面が終わってほっと一息ついたとき、続く簡単ところで失敗してしまったこと、みなさんも経験があるのではないのでしょうか。

このように古典の文章の中には、今のわたしたちにも思い当たることが書かれていることがめずらしくありません。今からずっとずっと昔の時代を生きた人たちによって書かれたものではありませんが、人々の考えること、感じることの中には、今も昔も変わらないものがふくまれているものなのです。

上の文章について答えましょう。(10点×3問=30点)

① 線①の「随筆」とはどのような文ですか。

(例)自分の考えなどをありのままに書く文

② 線②の「このこと」とは、木登り名人が弟子に何をしたことですか。

高くて(**危ない**)ところにいるときは声をかけなかったのに、低いところに来たときに(**注意**)したこと。

③ 線③の「難しいこと」の例として挙げられていることを二つ答えましょう。

(**長縄とび**)と(**楽器の演奏**)

上の文章について、正しいものに○をしましょう。(10点×2問=20点)

① 「法師」とはどういう意味ですか。

師しょう

おぼろさん

名人

② □に合う言葉はどれですか。

だから

つまり

ところが

言葉と意味を線で結びましょう。(5点×4問=20点)

① 初心忘るべからず

② 天は人の上に人を造らず、
人の下に人を造らずといへり。

③ なせば成る なさねば成らぬ 何事も
成らぬは人の なさぬなりけり

④ 千日のけいこを鍛とし、
万日のけいこを練とす。

何事も強い意志を持って行動すれば、やりとげることができる。
結果が得られないのは、意志を持って行動していないからだ。

新しいことを始めたときの自分の未熟さや、
次の段階に進んだときの初めての経験を忘れてはならない。

千日、万日と、ひたすらけいこを続けることが大切である。

人は本来、上下の別なく平等であると言われている。

生活の中で、季節を感じたことや、気づいたことなどから題材を集め、俳句を作りましょう。

声に出して読みましょう。(10点×1問=10点)

俳句は、「五・七・五」の十七音で表現される短い詩で、季節を表す「季語」を入れる決まりがあります。

季節から連想される言葉を集めて、「五・七・五」になるように考えましょう。

A 歩くたび ふわっとまい散る 落ち葉かな

B 羽子板で 今年目標 打ち上げる

C 冬の空 夜空に見えるオリオン座

D 木々の群れ 葉の服ぬいで 春を待つ



上の文章について答えましょう。(5点×4問=20点)

① Aの俳句の季語と季節は何ですか。

季語…(落ち葉) 季節…(冬)

② Bの俳句の季語と季節は何ですか。

季語…(羽子板) 季節…(冬)

③ Cの俳句を「五・七・五」の三句に分けて書きましょう。

冬の空 夜空に見える オリオン座

④ Dの俳句を「五・七・五」の三句に分けて書きましょう。

木々の群れ 葉の服ぬいで 春を待つ

次の言葉が表す季節を書きましょう。(2点×20問=40点)

①	たんぼぼ	春	②	お月見	秋	③	花見	春	④	たこあげ	冬	⑤	かみなり	夏
⑥	初もうで	冬	⑦	雪解け	春	⑧	キャンプ	夏	⑨	カブトムシ	夏	⑩	コオロギ	秋
⑪	かぼちゃ	秋	⑫	金魚	夏	⑬	柿	秋	⑭	入学	春	⑮	マスク	冬
⑯	ひまわり	夏	⑰	みかん	冬	⑱	こたつ	冬	⑲	もみじ	秋	⑳	かえる	春

問題に答えましょう。(10点×3問=30点)

① 「冬」から連想される言葉を書きましょう。

(例)もち

② ①で書いた言葉を使って、俳句を作りましょう。

(例)もち三つ いろいろな味で 食べたいな

③ ②で作った俳句の「初めの五音」と「終わりの五音」を入れかえましょう。

(例)食べたいな いろいろな味で もち三つ

六年で学習した191個の漢字をテストしましょう。

漢字で書きましょう。(3点×30問=90点)

①	さとう ほ 砂糖が欲しい	②	そうじゅう こなん 操縦は困難だ	③	あぶ けいさつしょ 危ない警察署
④	たまご から わ 卵の殻を割る	⑤	ぎんかけい うちゅう 銀河系の宇宙	⑥	おきな にゅうじ よ 幼い乳児を呼ぶ
⑦	こうごうへいか つくえ 皇后陛下の机	⑧	かいこ きぬ そ 蚕の絹を染める	⑨	せんきょうし ひはん 宣教師の批判
⑩	どくそうてき げきだん 独創的劇団	⑪	きび ほうりつ したが 厳しい法律に従う	⑫	しきしゃ えいぞう 指揮者の映像
⑬	ちよしゃ ろうどく 著者が朗読する	⑭	みじゆく かんごし 未熟な看護師	⑮	きぼ しゅうしゆく 規模が収縮する
⑯	おやこうこう わかもの 親孝行な若者	⑰	りんじ しゅうしょく 臨時で就職する	⑱	しゅうきょう そんぼう 宗教の存亡
⑲	くちべに のうひん 口紅を納品する	⑳	じゅもく やさ あら 樹木を優しく洗う	㉑	いさん かし 遺産の価値
㉒	せい いずみ ぐんしゅう 聖なる泉の群衆	㉓	こんらん かくさん 混乱が拡散する	㉔	しんぞう きず うたが 心臓の傷を疑う
㉕	しげん ちよぞう 資源を貯蔵する	㉖	けつろん すいそく 結論を推測する	㉗	くろしお だんりゅう 黒潮は暖流だ
㉘	かぶ けいざいたいさく 株の経済対策	㉙	かんたん つうやく 簡単に通訳する	㉚	じしゃく はへん 磁石の破片

読み方を書きましょう。(2点×5問=10点)

例	しょうじ しめる 障子を閉める	①	るすばん じこく 留守番の時刻	②	まきじゃく ごさ 巻き尺の誤差
③	やちん ふたん 家賃を負担する	④	やまもり おし 山盛りの蒸パン	⑤	はしゅつじょ こども 派出所の子供

六年で学習した191個の漢字をテストしましょう。

漢字で書きましょう。(3点×30問=90点)

① ひみつ たから さが 秘密の宝を探す	② わたし ゆうびん とど 私に郵便が届く	③ ちゅうしゃばり す 注射針を捨てる
④ たんじょうび わす 誕生日を忘れる	⑤ しょうぐん ちゅうせい 将軍への忠誠	⑥ しろ てんしゅかく 城の天守閣
⑦ はいく てんらんかい 俳句の展覧会	⑧ しゅのう そんけい 首脳を尊敬する	⑨ じたく えんそう 自宅で演奏する
⑩ さいばん ひけつ 裁判で否決される	⑪ しょくく ほうもん 諸国を訪問する	⑫ かいだん うら すわ 階段の裏に座る
⑬ あな そ なら 穴に浴って並べる	⑭ せぼね げきつう 背骨の激痛	⑮ せいとう せんもんし 政党の専門誌
⑯ けんちょう きんむ 県庁に勤務する	⑰ かくしんてき ふくそう 革新的な服装	⑱ かざんばい しょり 火山灰の処理
⑲ きちょう すがた おが 貴重なた姿を拝む	⑳ はい こきゅう 肺で呼吸する	㉑ こうてつ きんにく 鋼鉄のような筋肉
㉒ けんぽう じゅし 憲法を重視する	㉓ どうろん こうふん 討論に興奮する	㉔ てつぼう お 鉄棒から降りる
㉕ はんちょう こうほしゃ 班長の候補者	㉖ しきゅう えんき 至急、延期する	㉗ いっさつ まいすう 一冊の枚数
㉘ じよせつ くいき 除雪する区域	㉙ かし たんじゅん 歌詞が単純だ	㉚ わがや ばん 我家の晩ごはん

読み方を書きましょう。(2点×5問=10点)

例 たれまく すんぽう 垂れ幕の寸法	① どうそうかい よじつ 同窓会の翌日	② こきょう くらす 故郷で暮らす
③ どうめいこく じんぎ 同盟国の仁義	④ ちそう ことなる 地層が異なる	⑤ じんけん みとめる 人権を認める